

平成22年度 カラチ市内7地区飲料水ろ過設備設置計画



カラチ市の貧困地域では、下水や工業廃水が飲料水を汚染し、毎年約3万人が亡くなっていました。そこで、国内各地で社会福祉サービスを提供する「アル・ヒドゥマツ基金」に対し、草の根無償資金協力によってカラチ市内の7地区に浄水装置を設置しました。その結果、これら施設の利用者は年間で約200万人以上に上り、多くの地域住民に安全な飲料水を提供しています。さらに、利用者は水の供給に対して少額を支払うことで、安価で水の提供を受けられると同時に、回収したお金は施設のメンテナンス費用等に充てられています。この仕組みによって、長期的な運営を実現できる好循環が生まれています。



Point 持続の仕組みが生み出す結果



供給量
年間 **2400万** リットル

利用者
年間 **200万** 人